

.....これは冒険の記録である。

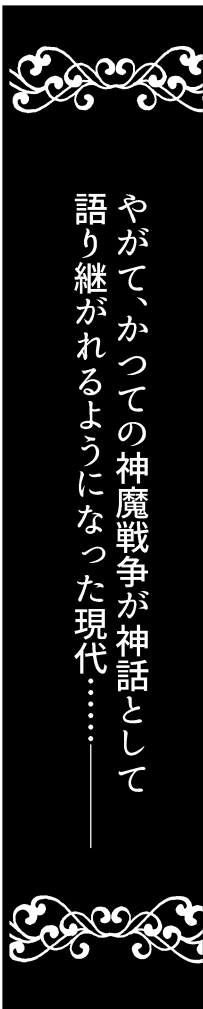


苛烈を極めたその戦いは、しかし、
神族の一人の青年の手によって
魔族の王が封印された事により幕を閉じた。

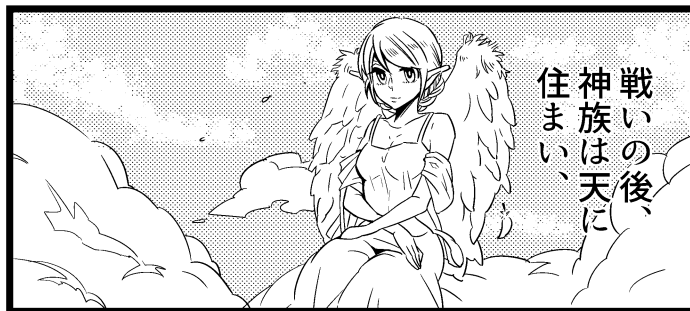
今から二千年前、
大陸リルファンシーで神族と魔族の
争いが起こった。



永い刻^{とき}の中でかの封印が解け、邪悪な力によって
再び世界は暗黒に包まれようとしていた……!!



やがて、かつての神魔戦争が神話として
語り継がれるようになった現代……



戦いの後、
神族は天に
住まい、



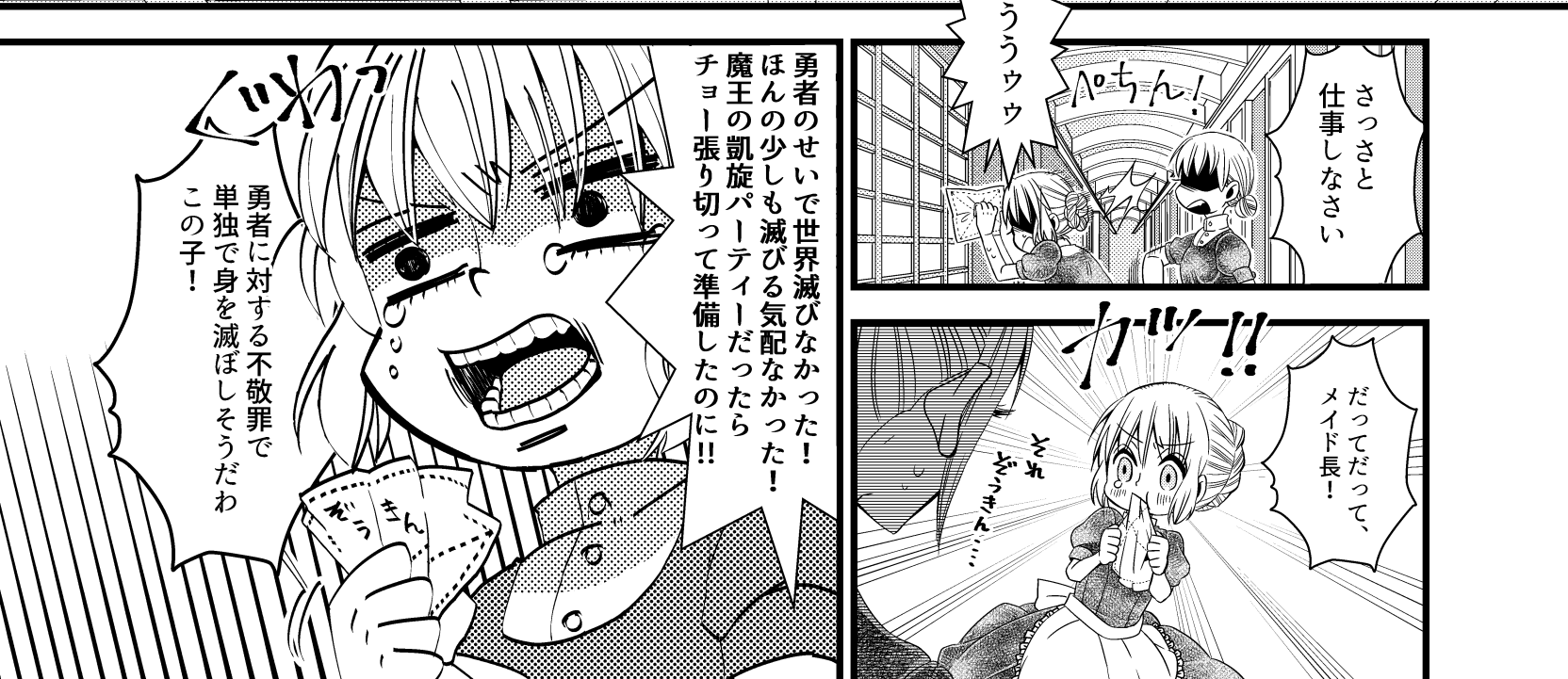
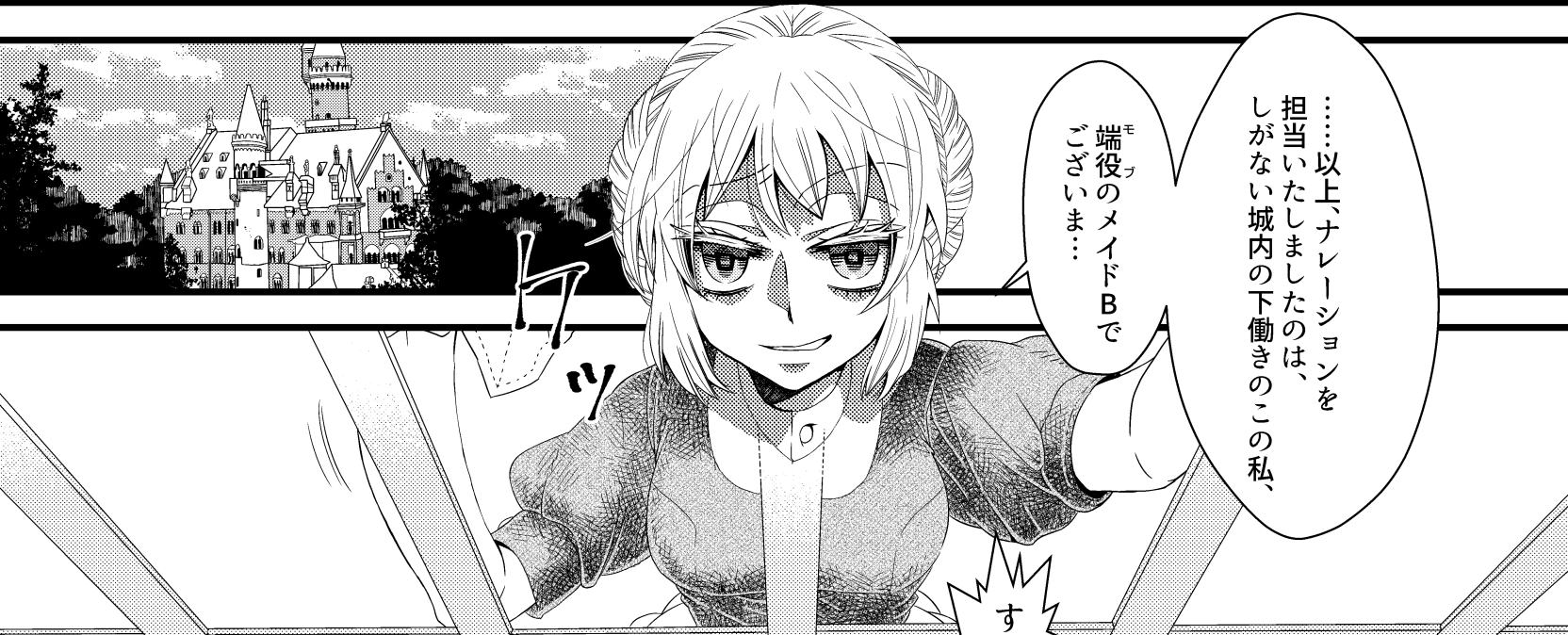
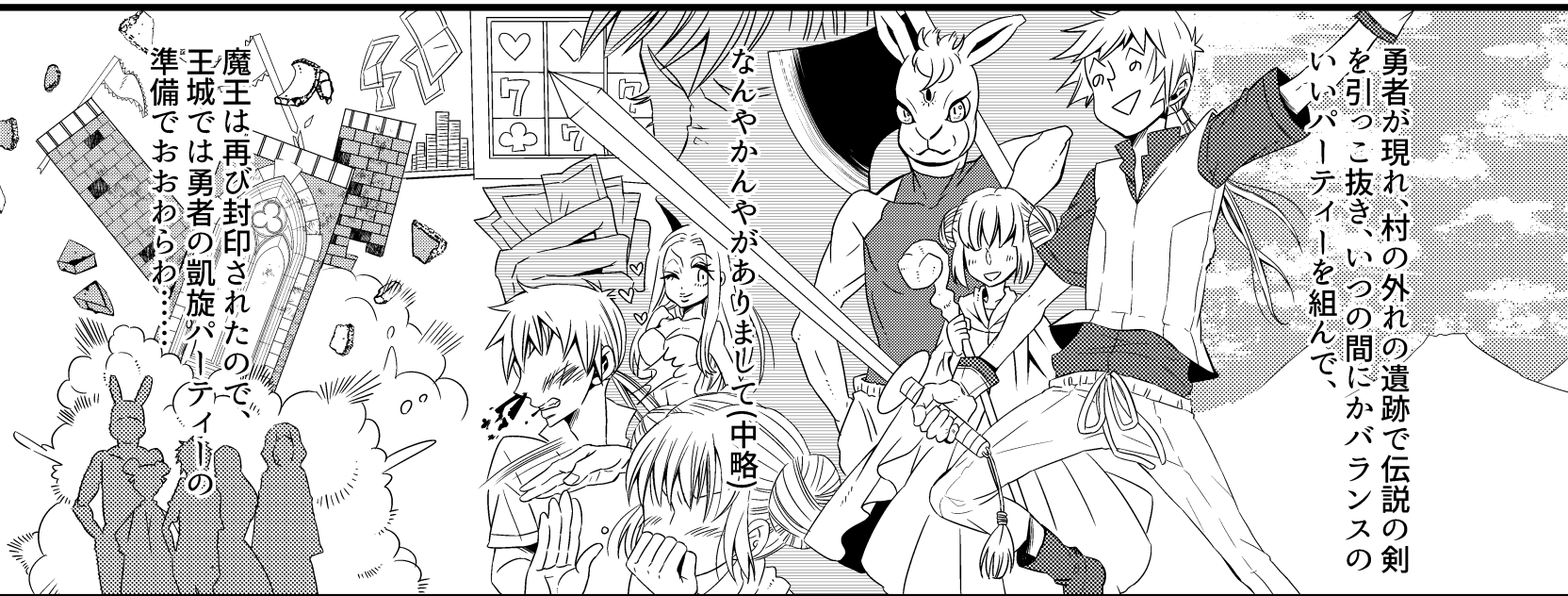
地上には人間が
生まれ、



間族は闇へと
棲家を遷じた。



——……ところを、



……つたく、どんだけ世界の破滅願ってるんだか……

ここはもう別のここ、お願いするから中庭の水まきしてきてネ。

うーん、別に本気で世界の破滅願ってる訳じゃないですよ？ただまあ……

そっちの展開のほうで斬新で面白いかなって……

楽しい話あるかいよ

一時の快楽に心を委ね過ぎ!!

……まあ

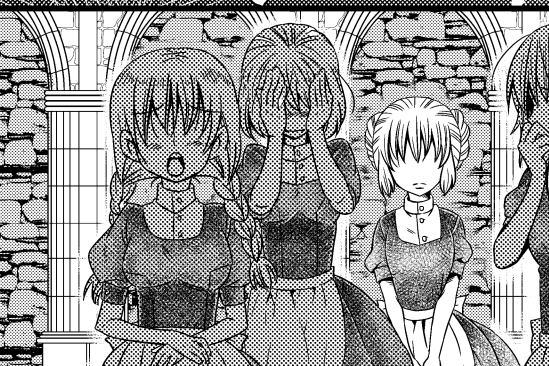
あんたじゃなくなっちゃって"王子ロス"で世界の破滅願ってた女の子は多いけどねえ

この庭の世話をしてくれてるのは君かな？

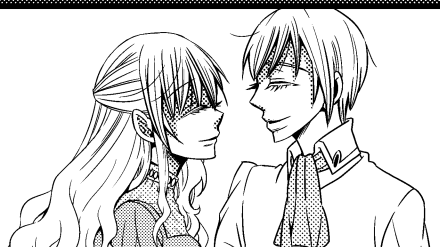
王族とは思えない気安さで
メイドにも声をかける御方で
酷く困惑した



多少世間ずれしている感
は否めないが、それすら美点の
ひとつと思わせる好人物



端役は限定的な大縁談を
導くための指標に過ぎない



“そして王子様とお姫様は
幸せに暮らしました”

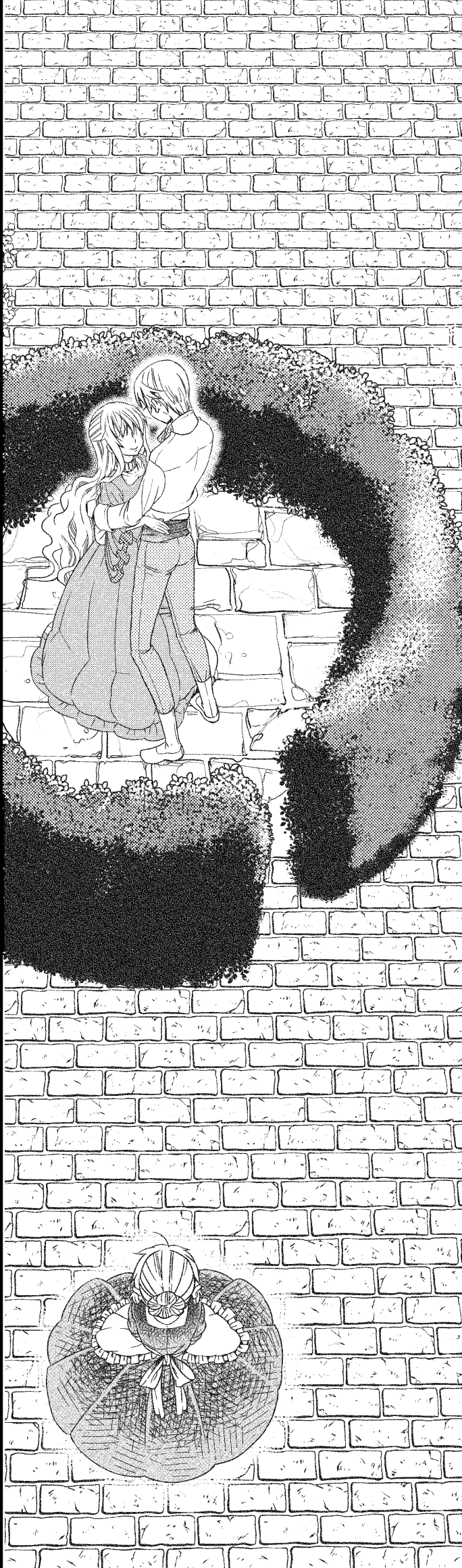
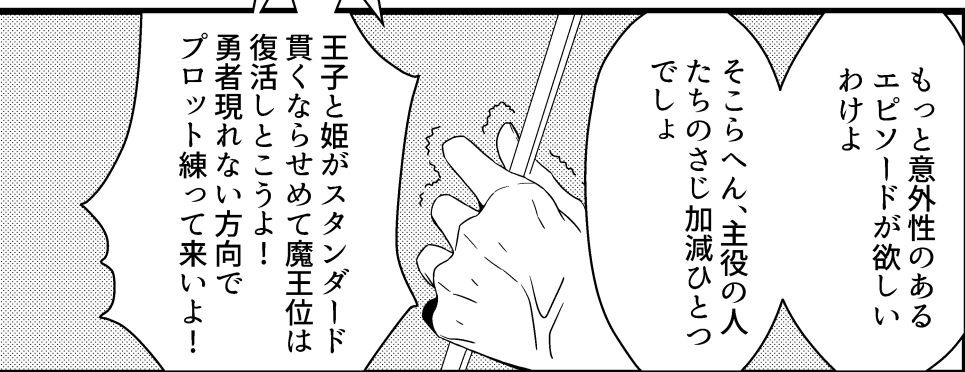
隣国から頻繁にいらつしやる
ほど、仲睦まじくておられるわ

皇女がご遊学中に、王立の学院で
親しくなられたらしいわよ

見て、

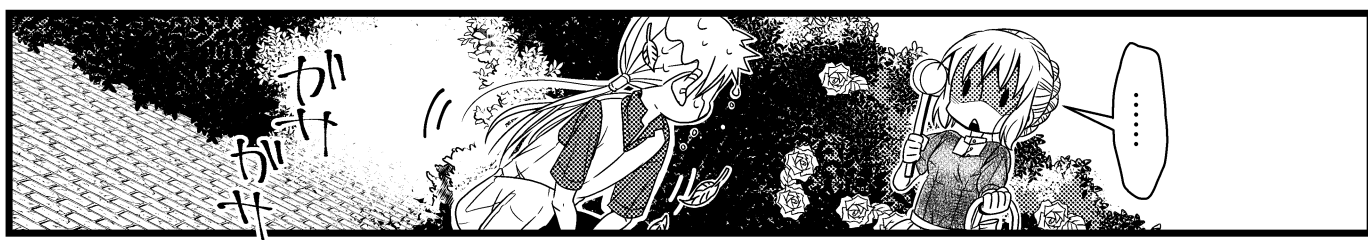
フリードリヒ様と
エリザベート皇女よ



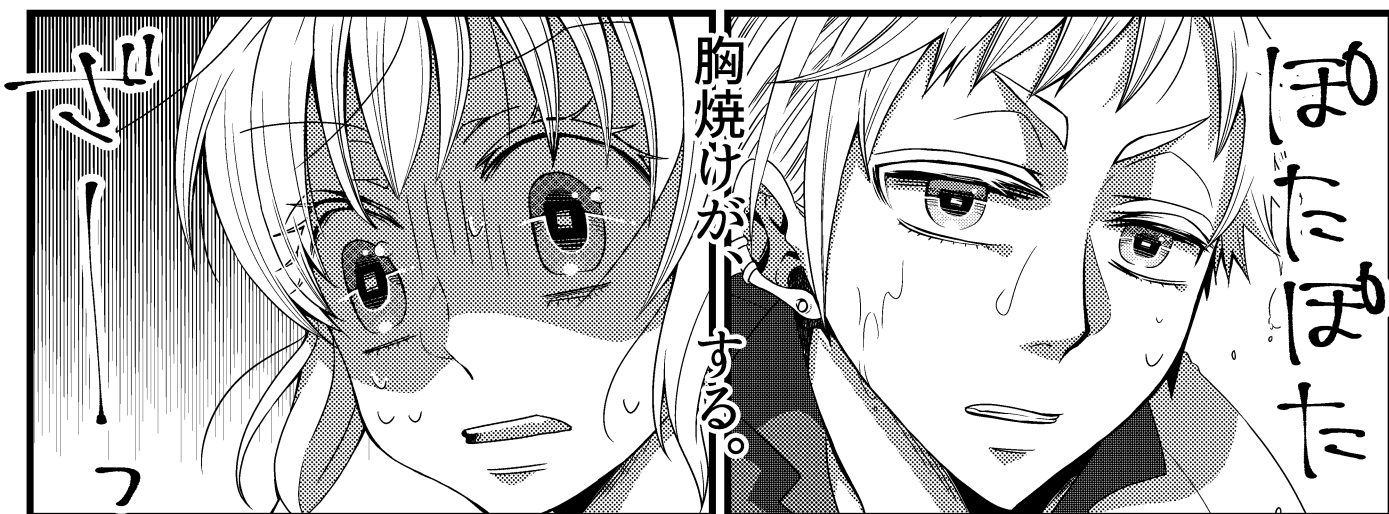




勇者死ねえええ

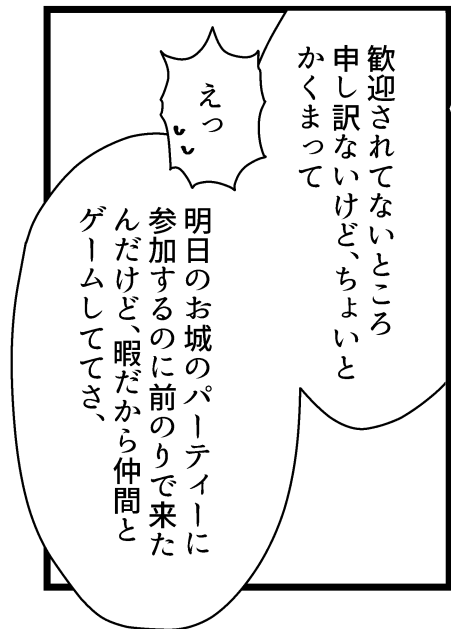


か
か
か



胸焼けがする。

ほたほた



えっ

明日のお城のパーティーに
参加するのに前のりで来た
んだけど、暇だから仲間と
ゲームしててさ、

歓迎されていないところ
申し訳ないけど、ちよいと
かくまって



申し訳ございません！

ウウウウ

第一声が勇者死ねって
魔王以来っすわ



勇者ああああ





このダンジョン
面白いねっ♪

失われてはじめて気付く日常の
尊さ！
斬新な展開を謹んで返品したい！！

神よ！！
我は汝を
お許し下され！！

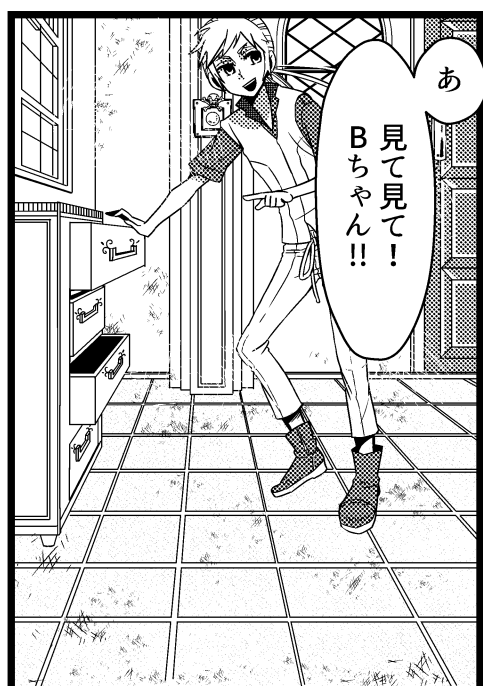
そこそこ危険な精神系
モンスターもいると聞きます

これ以上、
動かないで下さいっ

ええー？だってさあ、



どんな場所^{コロ}でも
どんな場面^キでも
自分から動くから
面白いんだよ



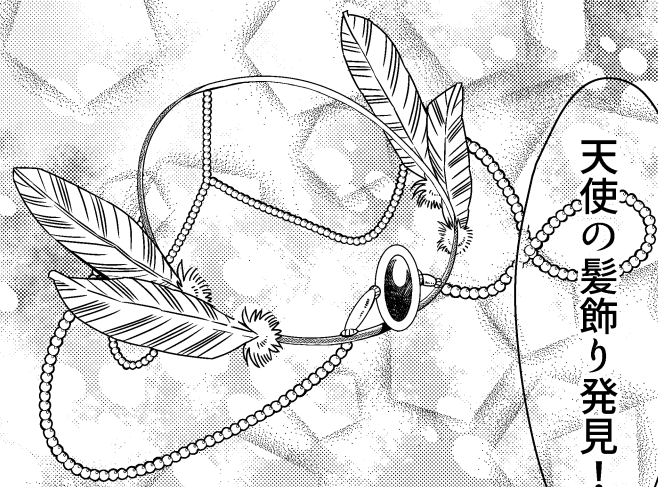
見て見て！
Bちゃん！！

あ

同時に突きつけられるのは、
端役^{モブ}としての自覚



臆面もなく発せられる正論に、
勇者^{ユウジャ}の証を見た気がする



天使の髪飾り発見！

<天使の髪飾り>
装備すると自由に空が飛べる

わあ、こういうモノって
冒険者の方でもない
見る機会もないんですよ！
すごい……

デヤインくそ
クサインくそ
宝庫は宝庫だ！！

そーなの？
じゃあせっかくだし
装備してみたら??

え



凄く似合ってるよ

そ……そうですか？

戦いに勝った数だけ
鳥の羽をむしって
頭に挿す部族の人
みたい！

アイテム名
「天使の髪飾り」!!



……どうでしょうか

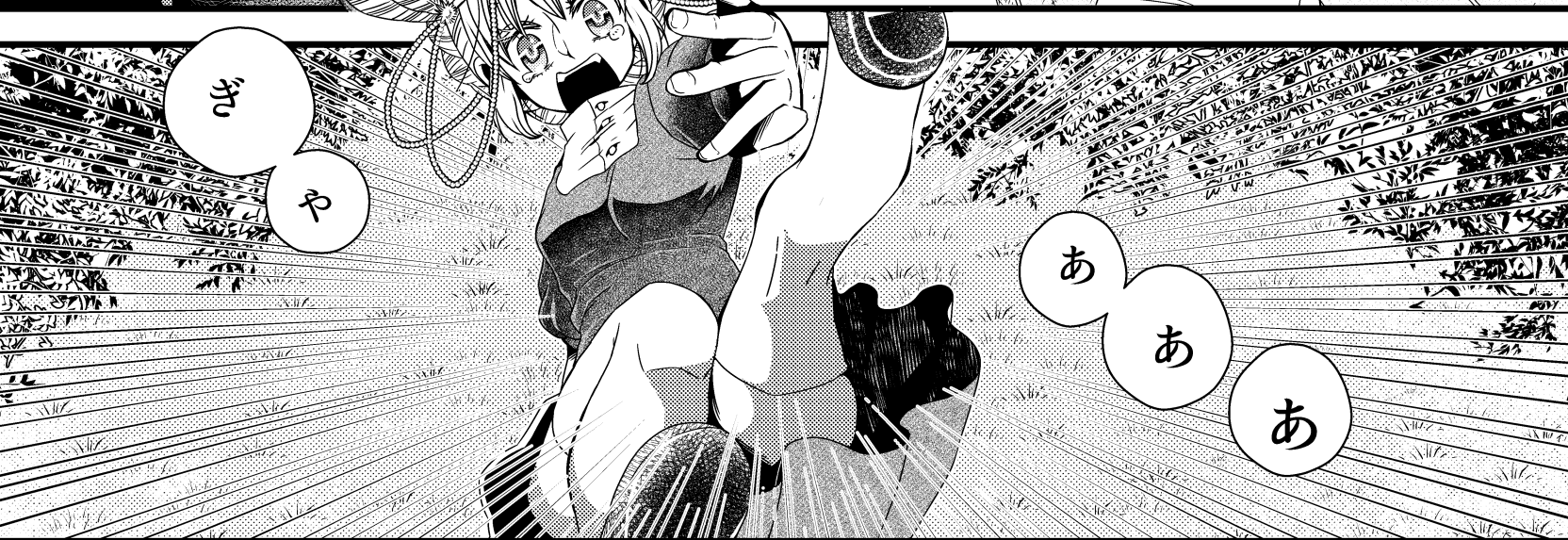
そうだ、せっかくだから
空も飛んでみなよ

いやいや、私、そういうスキル
無い一般人ですから……

そのアイテム自体に
魔力のスキルがこめられて
るから平気だよ

平気って言われても
使い方がわからないですし

やってみたら分かるって





……え、え？

うそ、

夢みたい……っ
私、飛んでるっ……！

ホラ、言ったじゃん

面白いでしょ

モブ
端役の癖に自分から動く
のはなかなかしんどい
……でも、

面白い
よ！
えー
そっか？

しんどいだけじゃない感情もたしかに、そこに

キモチ

……勇者様、そりやいざとなったら魔法とか使ってくださいってんでしょけど、今はナシですよ……死ぬかと思いましたよ……

え？俺、魔法なんか全然使えないよ？

も、もー冗談きついですよそれじゃあもし私が飛べなかつたらどうするんですか

……

ドンマイ！

怖！！

それより、柱にあるこのスイッチ押してみようよ

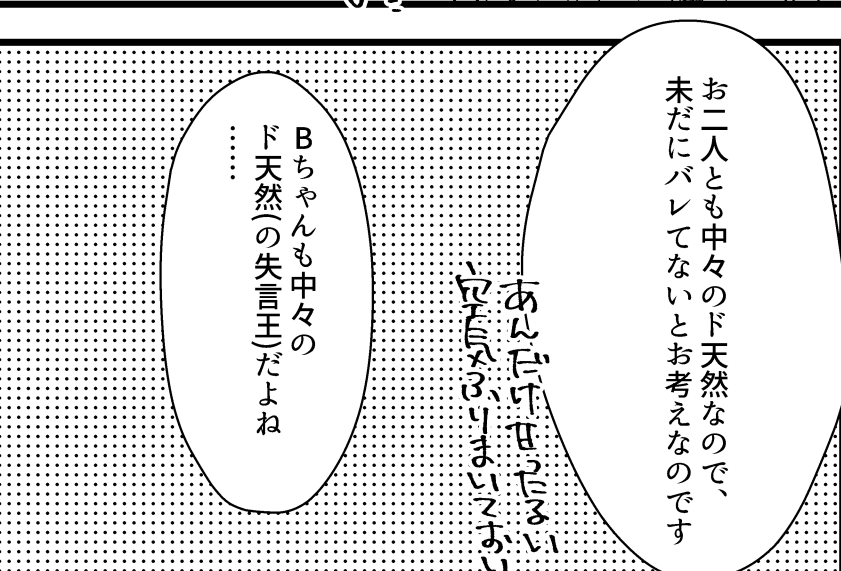
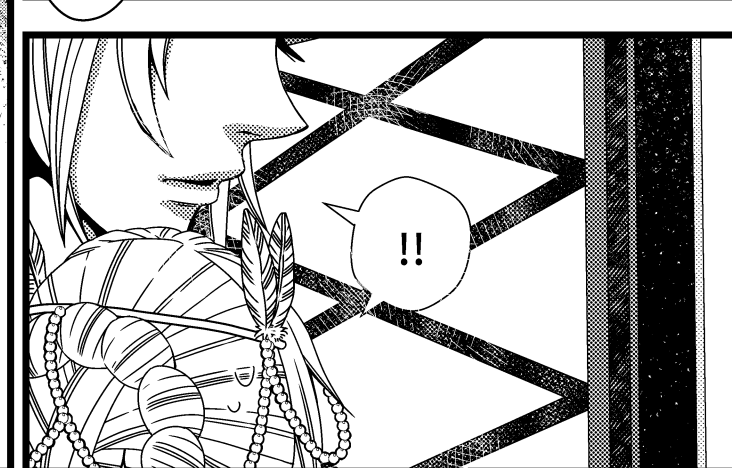
なんだろっや

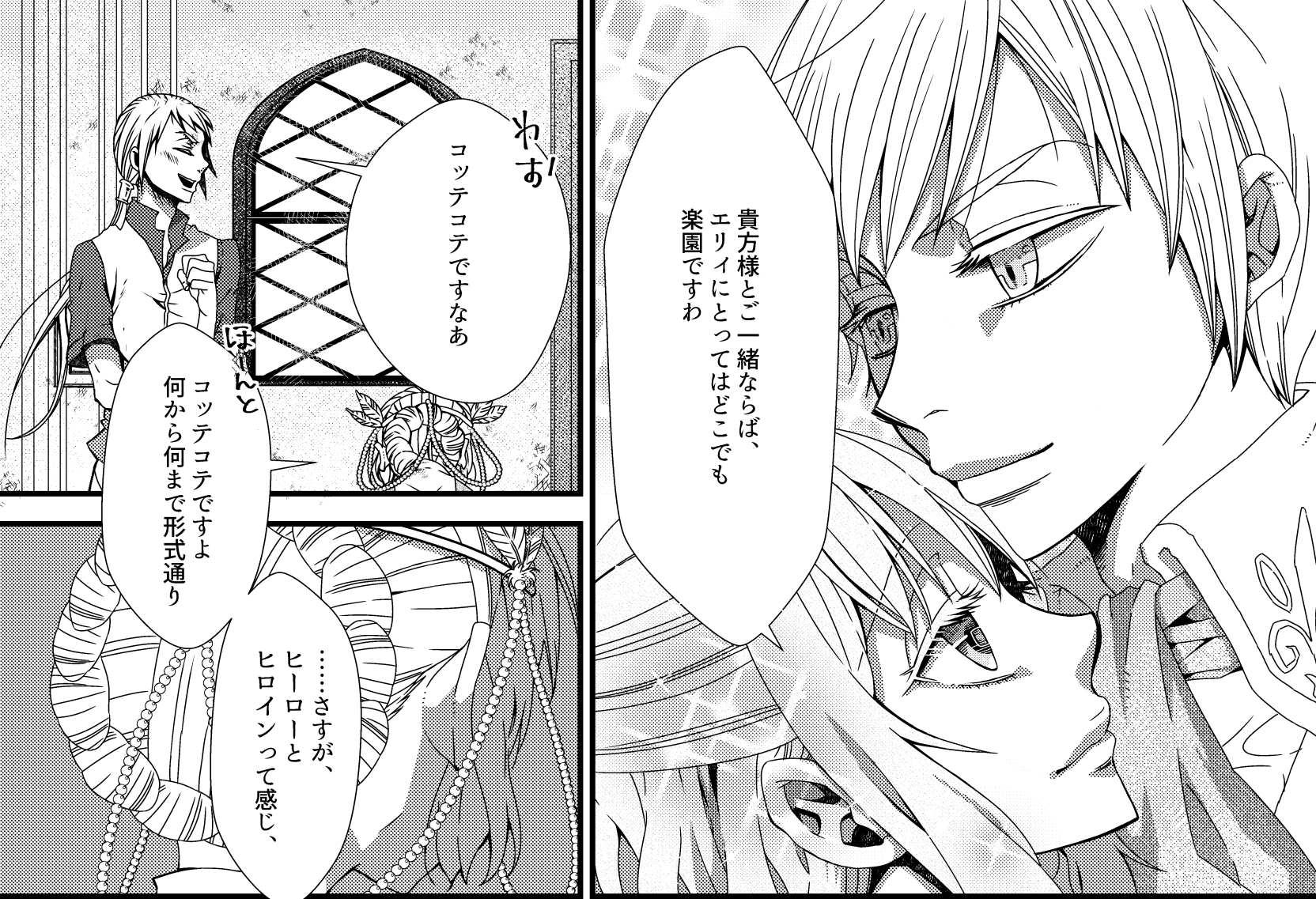
いや、絶対に自爆スイッチのフォルムだからねコレ！？

フーッ！止まれ！
里母は存亡
おっ！

カッ

？





貴方様と一緒ならば、
エリイにとってはどこでも
楽園ですわ

やあ

コッテコテですなあ

ほんと

コッテコテですよ
何から何まで形式通り

……さすが、
ヒーローと
ヒロインって感じ、

"——……そして、王子様とお姫様は幸せに暮らしました"



……でも、
でもやっぱり、
つまらないなあって

私……私たち、最初から
王子様に夢見るべきじゃ
なかったんです……

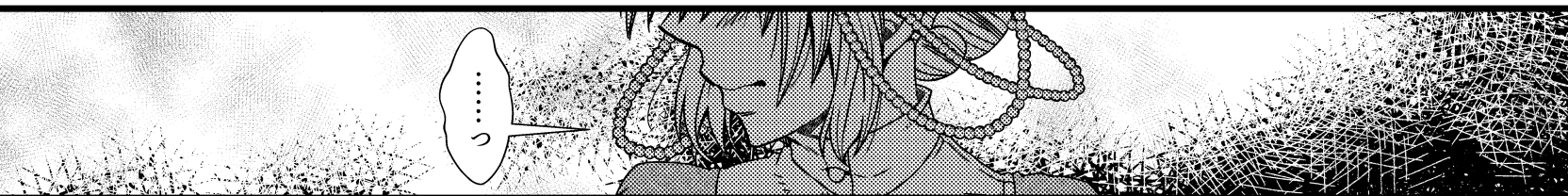
……じゃあさ、



……城のメイドたちは皆、
王子様に憧れておりました

でも王子様がお選りになったのは
隣国の美しく賢い姫でした

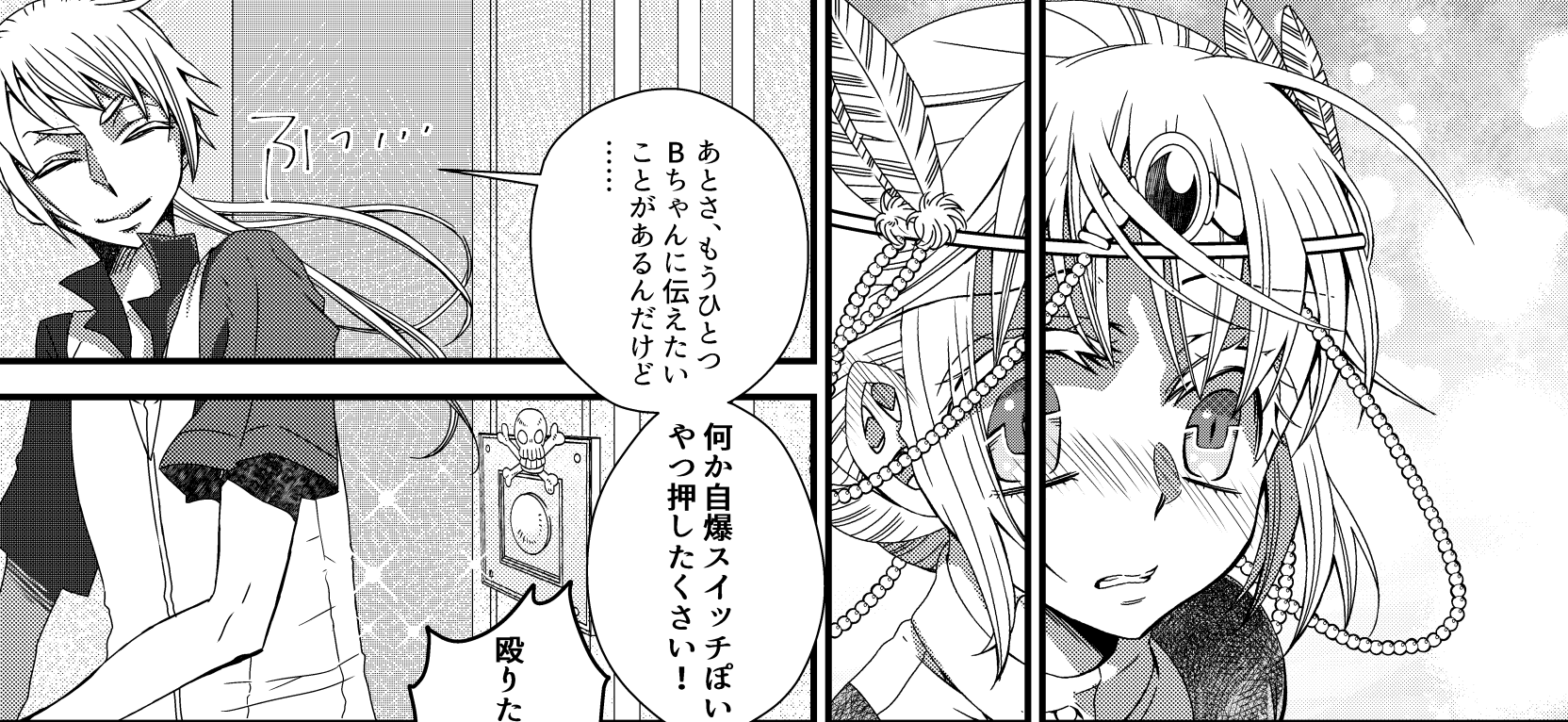
もちろんそれが普通のことだつて
私を含めた皆が理解つています



私を含めた多くの端役に
そんな能力あるはず無いじゃない



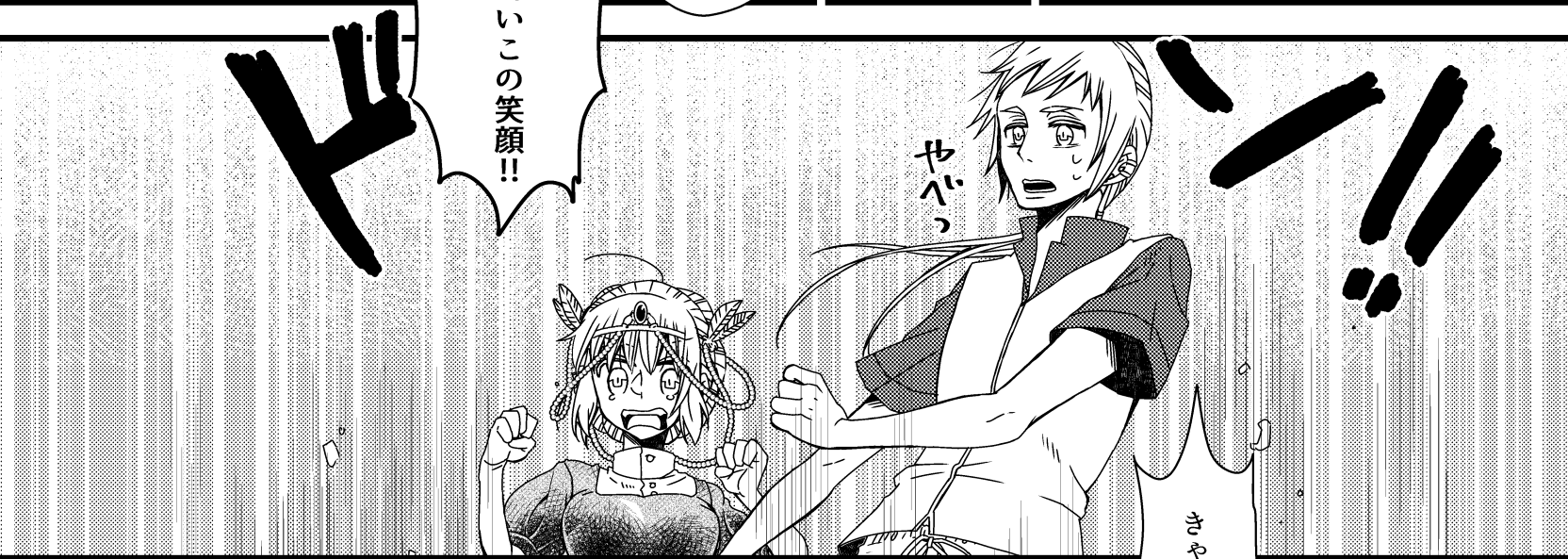
でもそれは、一部の特別な人たちの正論だ



あとさ、もうひとつ
Bちゃんに伝えたい
ことがあるんだけど
……

何か自爆スイッチっぽい
やつ押したくさい！

殴りたいこの笑顔！！



ヤハッ

きゃああああああっ



姫王子
……!!



モブ



心根麗
智に長ず

[illegible]

人間の毎日が
充分自覚してゐるわけだ

前じやない
ケケケ
ケラ

ケケケ
ケラ

ネ、全部全部
捨てちゃいなよ。



じぶん たにん つまらない
端役に夢見ないで、主役に夢見ないで、ただただ分相応な日々を感受すれば、

きつと楽になれる



でも、でも、
でもそれは、
楽しい事がしろ

……やめようが

期待しない分相應に
人生を消費していい

……分かってる

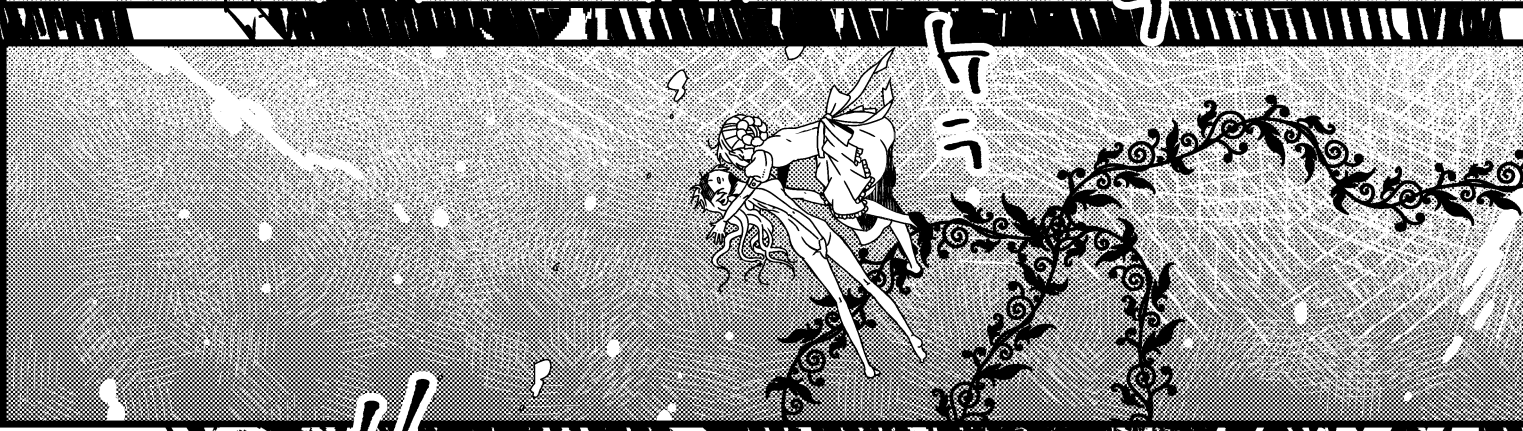
他人に夢を見させてもらってる
何処まで甘えてんのよ

……言っただけ

初対面は年取間
女ぐらいい図々しいから
いや本音でいって

キラ

キラ



空を飛べたとき、
確かに私は
私に夢を見た！



私は、お姫様じゃ
ないけれど、





夢を見ることを
諦めたくない!!

ありがとう
助かったぞ

危うく死ぬ所
だった

ええ、ハイ……

なぜ急に
崩れたのか……

勇者のせい
だとは言え
ない……!

どうやら貴方は知らぬ間に
トラップにかかってしまった
ようです

スツと出てきて
息するかの如く
王族に罪被せ
やがった……!

何故ここに
勇者様が!

神託です。

そんなんで
納得す……

なるほどですね!

納得したよ!
もう馬鹿!
三人揃って
奇跡の馬鹿!!

スツッ



本当に助けてくれて
ありがとう

名前はなんというのだ？

私、

……私の名前は、

……ビー……

ビアンカ・ノヴァクと申します



ビーちゃん
冒険者の才能あるよ

破壊力が
巨神兵
並!!

いや、私、ただの
メイドですし

そうスキはいらねえよ

これは冒険の記録である

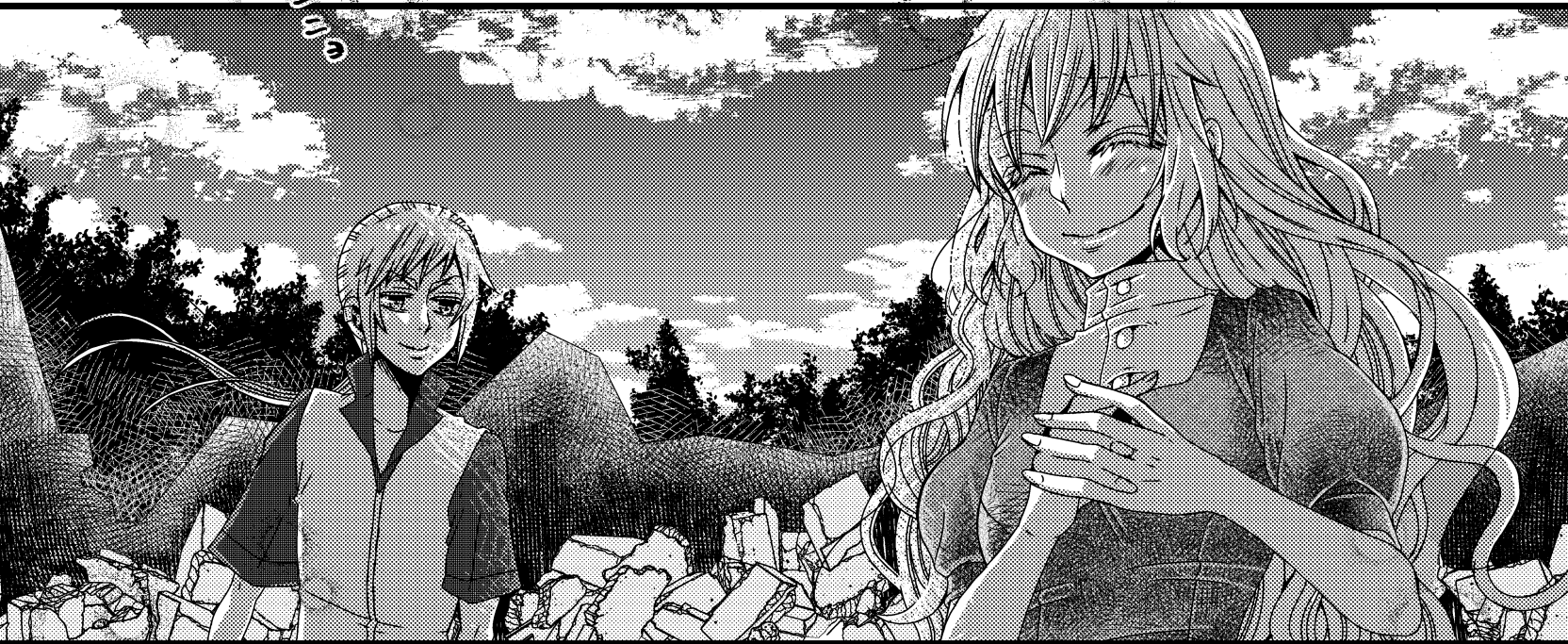
埋もれさせるには
惜しい逸材だよ
一緒にパーティー
組もうよ!

ただの
メイドだって
言ってるんだろ

世界を救うわけでも
魔王を倒すわけでも
ないけれど



ヒロイン
主役



今から踏み出す、第一章。

